

世界の 見方



気候変動デモや女性への性暴力に対する抗議運動など、近年若者の政治活動が活発化している。私が訪れた国では先進国、発展途上国に関係なく、喫緊の課題への大人の危機感のなさに、若者が不安や失望感を抱いていた。若者にとっては、気候問題などは想像できないような遠い未来の話ではなく、自分たちの生存に関わることだからだ。

また、現に6400万人の若者が失業し、1億4500万人の若者が働いているのに貧困の中にいる。6億人の若者は紛争や人道的な危機にある地域で暮らし、何百万もの少女が児童婚など不当な伝統的慣習に脅かされている。

だが、残念なことに若者が政治に関わりたいと思っても、その機会や手段は限られている。それが若い世代のいら立ちにもつながっている。大人は若者の活動に対して否定的になるのではなく、世代

間に橋を渡し、若者が建設的に政治に貢献できる安全な空間を作らなければならない。

国連は2018年から「ユース戦略」に取り組み、若者が国連の活動に参画できるプラットフォーム作りなどに力を入れてきた。加盟国に対しても、若者に投資し政治参画の機会を作るよう求めてきた。若い世代が政策の意思決定に関わることで、未来の政策や法を履行するための自主性と責任感を持つことができる。政策に将来性を持たせる点でも非常に大事な。

一方で、若者の政治的無関心や無気力も問題だ。世界中の大きな問題をテレビで目の当たりにすると、自分には何もできないと感じられてしまう。たとえ一人でも変化を起こせると感じてもらうためには、問題を伝えるだけでなく成功例や解決策にも焦点をあてるのが重要だ。個人の生活スタイルの見直しや、家族や学校、コミュニティ内の変化が地域の問題解決に寄与し、世界規模の変化にもつながることを伝えなければいけない。【構成・日下部元美】

若者の政治参画 推進を

国連ユース戦略

グローバル問題の解決や「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に向け、2018年9月にスタートした。若者の知見やアイデアを取り入れ、国連

の取り組みの有効性や妥当性を高めることを狙う。30年までの12年間が対象だ。若者の権利拡充やエンパワーメント(活力を与えること)、人材育成、政治活動への参画機会の確保などを支援している。